

西北毛

第19回みなかみスノーフェスティバル(みなかみ町主催)が21日、同町藤原の水上高原スキーリゾートで開かれた。多くの観光客や親子連れがスノーシューなどを体験し、雪に親しんだ。



スノーシュー 宝探し 雪と遊ぼう

参加者100人は1~10キロの5コースに分かれ、雪原を駆け回った。雪中宝探しでは、大人と子どもが一緒に、雪の中に埋められたボールや果

物を掘り出して遊んだ=写真。町内の温泉の看板娘をイメージした泉極娘のステージも行われた。

埼玉県から初参加した

桑原彰太君(10)は「スノーシューで歩くのは大変だった。宝探しではパイナップルが見つかった」と笑顔だった。